



各 位

会社名 株式会社 エンチャオ
代表者 代表取締役社長 遠藤 健夫
(JASDAQ コード番号 8208)
問合せ先 経営企画室長 奥野 孝
(TEL 0545-57-0850)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年3月期の決算において、下記のとおり特別損失（減損損失）を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

また、当該特別損失及び最近の業績の動向等を踏まえ、2018年5月11日に公表いたしました2019年3月期（2018年4月1日～2019年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 特別損失（減損損失）の計上について

当社は、ホームセンター事業の一部店舗が保有する土地及び建物等固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、減損損失 211 百万円を特別損失に計上する見込みであります。

2. 2019年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	38,300	570	390	260	38.02
今回修正予想（B）	38,087	665	495	115	16.81
増減額（B-A）	△213	95	105	△145	
増減率（%）	△0.6	16.7	26.9	△55.8	
（ご参考）前期実績 （2018年3月期）	37,892	562	379	278	40.74

※当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

3. 業績予想修正の理由

下半期以降、2019年3月期の売上高につきましては、概ね予想通りの推移となり、営業利益及び経常利益につきましては、経費削減等により、前回予想を上回る見込みであります。

しかし、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、「1. 特別損失（減損損失）の計上について」に記載の通り、減損損失を特別損失に計上したため前回予想を下回る見込みであります。

※上記業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上